

水銀輸出 米も禁止へ

13年から問われる日本の姿勢

水俣病の原因にもなった水銀について二〇一一年で輸出禁止を決めた欧州連合（E U）に続き、

米国も一三年から輸出を禁じる決定をしたことが二十日、ホワイトハウスで明らかにになった。水俣病の発生源である日本は途上国への輸出を増やしており、

世界から姿勢が問われそうだ。水銀輸出禁止法案は、民主党政権が中心

となり提出した。九月末のE Uの決定を受けて今月初め、同法案が米上院を通過。オバマ氏が当選すれば、署名するとみられていたが、ブッシュ大統領が十四日に署名した。

出生率にも影響する。米国は輸出を続けるべきでない」と歓迎の声明を発表した。米では環境保護庁が毎年六十三万人の新生児が胎内で警戒値を超す水銀の影響を受けていると発表。石炭火力発電所からの水銀排出削減量をめぐり、小福の共和党、大福の民主党間で対立してきた。

輸出された水銀が途上で汚染や健康被害を起していることから、民主党や市民団体が共和党



補のオバマ上院議員が中心

え、視野、動作、血圧、

記している。オバマ氏は「水銀は子どもに深刻な影響を与え、視野、動作、血圧、

的確認が必要

木村博承・環境省環境安全課長の話 米国の動きは承知していない。重要なのは世界全体の水銀排出を抑制すること。現状では水銀を使わなければならない需要もある。国内外での水銀の流れや需要、回収の状況などを見極めた上で、水銀削減につながる的確な対応を